

第70回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

平成29年9月6日（水）18:30～20:00

伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 24人

3 会議内容

(1) 「泥の河ツアー」リハーサルの報告

- ・9月23日（祝）実施の「泥の河ツアー」のリハーサルを8月29日（火）に実施。
- ・運営会議参加者2名にモニターになっていただき、追手門大学インターンシップ生が小説の舞台を案内。

今 後

- ・説明するポイントで、説明の建物が見えにくいなどの課題がでてきたので、本番までに修正を行う。
- ・小説を読み込んだ人も、読んだことがない人も楽しめるツアーづくりを目指す。

(2) ～気になる本で話そう～ <テーマ・日時決定>

- ・「女の子が生きていくときに、覚えていてほしいこと」（西原理恵子／著）をテーマに、性別や年齢を問わず、自分らしく自立した生き方についてフリートークを行う。
- ・本を読んでも呼んでいなくても参加可能。11月24日（金）10:00より開催。

(3) 「第3回タイトルだけグランプリ」ー特別佳作賞の創設についてー

- ・タイトルだけグランプリの申込が9月3日に終了し、応募総数は2,000件を突破。
- ・応募総数が大幅に増えたため、特別賞は伊丹市内からの応募作品から1点を選ぶ「運営会議賞」を創設。
- ・運営会議メンバーにて投票を実施し、結果は11月5日ことば蔵まつりにて発表。

(4) 「こども作戦会議」

- ・開催日程は10月14日（14時～）、11月5日（10時～）、12月17日（10時～）、1月13日（10時～）、2月4日（10時～）
- ・対象は小学校高学年～高校生ぐらいまで（あまり幅を狭めないように）
- ・前半3回ぐらいでアイデアを出して絞り込みを行い、後半は実行のための準備に充てたい。
- ・作戦会議で出た企画の実行は、作戦会議の日程とは別に設ける。

目的

- ・新しいことに挑戦してほしい。失敗しても構わないし、失敗を経験することが大切。
- ・できない…だから諦めるのではなく、どうしたらできるのかを大人と考えていきたい。
- ・企画したことを実践する場を作りたい。
- ・一緒にイベントを盛り上げる中で、子ども同士、またスタッフや周囲の大人たちとの絆を深めて欲しい。

意見

- ・いくつか例があった方が、子どもたちはイメージしやすいのではないかな。
- ・全回参加することが前提ではないが、途中から参加した子をフォローする仕組みを考えたい。
- ・今の子どもたちには自主性がない、その中でどうやってやりたい事を引き出すかが難しい。
- ・難しいことだと思うが、そこに作戦会議をやる意味があり、自主性を身につけて欲しい。
- ・大人が司会進行すると、無意識に誘導してしまうのではないかな。

4 次回の運営会議

平成29年10月4日（水）18：30～ 伊丹市立図書館ことば蔵1階交流フロア